

第1回 船橋市交通ビッグデータ見える化協議会 議事概要

○日時：令和2年8月25日（火）14：00～16：00

○場所：船橋市役所 6階 602会議室

○意見交換内容

（1）協議会の枠組みと進め方

協議会の枠組みと進め方、対策部会の設置・内容について説明し、全て承認された。

意見

・道路安全診断は対策立案の要因分析や現地視察など企画段階で関係者一同が一体となって検討を進めていくと、その後の諸調整がスムーズになることが大きなメリットである。

（2）船橋市の現状と課題

船橋市内の現状と課題について、交通ビッグデータを使って分析した結果を説明した。

意見

・交通渋滞・事故ともに、問題が大きい箇所での詳細分析、例えば、渋滞であればボトルネック箇所の把握や各時間帯の渋滞状況、道路の幾何構造と比べての速度低下状況等、対策立案につなげるための要因把握、事故であれば事故類型など事故原因がわかる整理ができれば、地域ごとに事故のタイプの違いも明確にでき、対策立案に直結する。

（3）市の取組みに対する住民意見

平成30年度に実施した市民アンケート調査結果を説明した。

意見

・（2）で示した客観データによる課題とニーズの合致状況を確認し、本協議会の目的・議題は、住民ニーズに沿っている内容である。

（4）対策エリア・箇所の選定方法と結果

交通安全、交通円滑化それぞれの対策エリア・箇所の選定方法について説明した。

意見

・交通円滑化の評価指標は複雑にするより、シンプル化したらどうか。
交通円滑化対策部会では国県道をシンプルにした指標を検討してみる。

- ・交通円滑化の国県道の優先度結果で、国道 357 号が上位に入らないのは違和感がある。速度低下が実際起きているし、国としても対策を進めている路線であるため、国や県の管理路線の実情も加味したものにすべきである。

今の指標だと、国の直轄国道(357号)は速度低下が起きているものの、他の国道・県道と比べてしまうと、速度低下の度合いが低く、優先度が低くなってしまっている。

直轄国道は全ての道路に影響を及ぼす重要な道路であるため、県管理道路とは比較せずに別で評価する。

- ・交通安全の対策検討エリアのうちの習志野台 5 丁目について、隣の習志野台 8 丁目を対象に、千葉国道の道路安全診断で過年度に検討を実施している。同検討資料を千葉国道事務所から入手し、一体的に検討したほうが良い。

交通安全対策部会では一体的に検討する。

- ・交通円滑化の問題箇所が多いため、今年度全てを対応するのは厳しいのではないか。今年度は市単独で検討が可能な路線を対象としたらどうか。市道での検討事例を踏まえて、国県道は次年度以降の対象としたらどうか。

交通円滑化対策部会で検討箇所の絞り込みについて検討する。

(5) 今後の予定

今後の予定を説明した。

- ・本年度の検討内容は全 3 回の協議会を実施する予定。
- ・各対策部会はそれぞれ 3 回実施する予定。

